

九州農業成長産業化連携協議会
平成29年度総会 議案書

平成29年6月8日

報告事項 平成 28 年度事業報告

1 管理運営事業

(1) 九州農業成長産業化連携協議会役員会・通常総会

- ・日時：平成 28 年 6 月 2 日（木）
- ・場所：T K P ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前（福岡市）
- ・概要：平成 27 年度事業報告、平成 28 年度事業計画、役員選任等

(2) 企画運営委員会

ア 第 10 回企画運営委員会

- ・日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：平成 28 年度事業の進捗状況報告、今後の企画運営方針検討等

イ 第 11 回企画運営委員会

- ・日時：平成 29 年 3 月 14 日（火）
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：平成 28 年度事業の進捗状況報告、平成 29 年度の企画運営方針検討等

(3) 共同事務局会議

- ・日時：毎月開催
- ・場所：各構成機関会議室
- ・概要：事業の進捗状況の確認、関係機関の連携方策等についての検討等
（構成機関）
一般社団法人九州経済連合会・一般財団法人九州地域産業活性化センター
九州農政局・九州経済産業局

2 経営連携促進事業

<会員間の連携による課題解決>

(1) 連携提案実現に向けた支援

ア 加入者状況

- ・平成 29 年 3 月末現在 704 団体、企業、個人（平成 28 年 3 月末会員数 662 から 42 会員増）

イ 会員間の連携促進に向けた取組み

(ア) 統一様式を活用した会員間のマッチング促進

- ・統一様式「連携提案書」を活用して会員からの連携提案を募り、既存会員に対

して協議会クラウドによる周知を実施。提案者との連携希望については、統一様式「関心会員の登録」により随時募集。

- ・平成 28 年 2 月末累計で「連携提案書」67 件（うち 1 件取り下げ）、「関心会員の登録」44 件。
- ・平成 28 年 3 月に関係様式の改善、11 月より連携提案書に係る情報を一定期間一定間隔で参考情報を交えつつメールで発信。新たに 8 件の連携提案書が提出。
- ・キャンペーン的な取組（6 次化商品の販売促進等）の導入。1 件の連携提案書が提出。

以上により平成 29 年 3 月末累計 75 件。

（イ）商談会カレンダーの発行

- ・会員間の連携実現に向け毎月発行。

ウ 交流会等の企画・参画

（ア）「農業参入フェア 2016 in 福岡」（主催：一般社団法人全国農業会議所）

- ・目的：参加者に対する個別相談
- ・日時：平成 28 年 10 月 18 日（火）13：00～16：30
- ・場所：電気ビル共創館 4 階「みらいホール」（福岡市）
- ・概要：協議会専用ブースへ相談員を派遣。

（イ）「全国キャラバン食の発掘商談会 in 熊本」（主催：株式会 J T B 西日本）

- ・目的：参加者に対する個別相談
- ・日時：平成 28 年 11 月 29 日（火）8：30～17：10
- ・場所：ホテルニューオータニ熊本（熊本市）
- ・概要：協議会専用ブースへ相談員を派遣。

（ウ）「農工連携教育検討専門分科会」（主催：九州工学教育協会）

- ・日時：平成 28 年 12 月 12 日（月）14：00～17：10
- ・場所：九州大学 2 号館 5 階 501 号室（福岡市）
- ・概要：講師を派遣し、協議会の活動について紹介。

（エ）「第 5 回九州食の展示商談会 in 福岡」（主催：九州食の商談会実行委員会）

- ・目的：参加者に対する個別相談
- ・日時：平成 29 年 1 月 18 日（水）10：00～17：00
同 1 月 19 日（木）10：00～16：00

- ・場所：福岡国際センター（福岡市）

- ・概要：協議会専用ブースへ相談員派遣。

（オ）「6 次産業化・農商工連携フォーラム in 九州」

(主催：九州農政局、九州経済産業局、九州食の展示商談会実行委員会)

- ・ 目的：参加者への情報提供、意識向上
- ・ 日時：平成 29 年 1 月 19 日（木）13：00～16：00
- ・ 場所：福岡国際センター（福岡市）
- ・ 概要：協議会専用ブースへ相談員派遣。

（２）九州農業連携塾

- ・ 目的：会員相互の定期的な交流及び協議会外部との交流促進等
- ・ 日時・場所：平成 28 年 7 月 29 日（金） 福岡第一合同庁舎（福岡市）
平成 29 年 2 月 22 日（水） 凸版印刷株式会社九州事業部（福岡市）
- ・ 概要：会員間の経営連携を促進するため、連携提案（プレゼン）、意見交換及び交流会を実施。テーマについては、流通部会での取組事項や過去の連携塾アンケート結果等を踏まえ設定。
平成 28 年 7 月 29 日（金）（第 21 回）：HACCP をテーマに開催（参加者 55 名）
平成 29 年 2 月 22 日（水）（第 22 回）：鮮度保持実証プロジェクト、先端農業実証事業の紹介、商品の高付加価値化の提案（参加者 53 名）

<生産性の向上>

農業の生産性向上セミナー

- ・ 目的：先進的な取組事例や技術動向の把握等を通じた農業の生産性向上。
- ・ 概要：先進地の視察、事例研究等のセミナー開催。

ア 「鮮度保持・長期輸送技術セミナー」（エコテクノ 2016 内）

- ・ 日時：平成 28 年 10 月 12 日（水）13：30～16：30
- ・ 場所：西日本総合展示場（福岡県北九州市）
- ・ 概要：国立研究開発法人農業・産業技術総合研究機構九州沖縄研究センター、日本ガス株式会社によるイチゴやレタスの輸出実証をテーマにした基調講演のほか、4 社による事例発表が行われ、鮮度保持と輸出をめぐる現状と課題の把握と、最新の鮮度保持技術に係る情報共有を実施（参加者 140 名）。

イ 「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座」

- ・ 目的：農業法人、農業者（後継者、新規就農者を含む）及び農業参入を検討中の企業等を対象に、異業種交流、先進地視察、オープンセミナーへの参加な

ど年4回開催。

◆第1回

- ・日時：平成28年8月29日（月）15：00～17：30
- ・場所：JR博多シティ（福岡市）
- ・概要：異業種交流を通じたネットワーク形成を目的に、女性経営者2名による基調講演、トークセッションに引き続き、3グループに別れてディスカッションを実施（参加者43名）。

◆第2回

- ・日時：平成28年9月29日（木）8：15～20：00 ※渋滞に伴う遅延のため
- ・場所：おおむら夢ファーム シュシュ（長崎県大村市）
農業生産法人愛菜ファーム株式会社（長崎県諫早市）
- ・概要：流通部会と合同で、6次産業化関連の先進事例である「おおむら夢ファーム シュシュ」と企業の大規模農業参入事例である「愛菜ファーム」を先進地視察（参加者42名）。

◆第3回

- ・日時：平成28年10月12日（水）13：30～16：30
- ・場所：西日本総合展示場（北九州市）
- ・概要：エコテクノ2016内で開催された「鮮度保持・長期輸送技術セミナー」に参加（参加者140名。うち、人材育成講座からの参加者35名）。

◆第4回

- ・目的：異業種交流を通じたネットワーク形成及び相互理解促進
- ・日時：平成29年2月9日（木）14：00～17：55
- ・場所：久留米シティプラザ（久留米市）
- ・概要：「女性農業者・6次産業化」「海外研修（農業経営）・地域貢献」「異業種経験・輸出」の各視点から、農業経営者（女性・後継者）による取組事例の紹介、産業界からの取組事例の紹介、パネル形式での質疑応答、グループ交流等を実施（参加者60名）。

<付加価値の向上>

（1）課題解決型セミナー

ア 「鮮度保持・長期輸送技術セミナー」

- ・前掲のとおり

イ 「HACCP 導入セミナー」

- ・日時：平成 28 年 11 月 15 日（水）～17 日（金）各日 11：00～12：00
- ・場所：マリンメッセ福岡（福岡市）
- ・概要：「[九州]外食ビジネスウィーク 2016」への出展者、来場者を対象に、食品の安心・安全と国際認証取得促進への理解促進を目的としたセミナーを開催（参加者 109 名）。
併せて、知財活用と HACCP 認証取得に係る無料相談コーナーを会場内に設置（ブース出展。相談者多数）。

ウ 「6次産業化・農商工連携フォーラム in 九州」

（主催：九州農政局、九州経済産業局、九州食の展示商談会実行事務局）

- ・目的：参加者への情報提供、意識向上
- ・日時：平成 29 年 1 月 19 日（木）13：00～16：00
- ・場所：福岡国際センター（福岡市）
- ・概要：行政（農林水産省、中小企業庁）による支援施策説明、専門家（マーケティング）、6次産業化・農商工連携事業者による取組事例の紹介、各支援機関による無料相談コーナー（参加者 137 名）。

（2） 6次産業化セミナー・シンポジウム

ア 「農業参入フェア 2016 in 福岡」（主催：一般社団法人全国農業会議所）

- ・目的：参加者に対する個別相談
- ・日時：平成 28 年 10 月 18 日（火）13：00～16：30
- ・場所：電気ビル共創館 4 階「みらいホール」（福岡市）
- ・概要：協議会専用ブースへ相談員を派遣。

イ 「6次産業化の支援に向けたワークショップ」

（主催：野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社）

- ・目的：協議会への加入促進
- ・日時：平成 28 年 10 月 21 日（金）13：00～16：30
- ・場所：野村証券株式会社福岡支店 2 階大ホール（福岡市）
- ・概要：協議会チラシを配布。

ウ 「全国キャラバン食の発掘商談会 in 熊本」（主催：株式会社 J T B 西日本）

- ・目的：参加者に対する個別相談
- ・日時：平成 28 年 11 月 29 日（火）8：30～17：10
- ・場所：ホテルニューオータニ熊本（熊本市）
- ・概要：協議会専用ブースへ相談員派遣。

エ 「第5回九州食の展示商談会 in 福岡」（主催：九州食の商談会実行委員会）

- ・ 目的：参加者に対する個別相談
- ・ 日時：平成29年1月18日（水）10：00～17：00
同 1月19日（木）10：00～16：00
- ・ 場所：福岡国際センター（福岡市）
- ・ 概要：協議会専用ブースへ相談員派遣。

オ 「6次産業化・農商工連携フォーラム in 九州」（再掲）

（主催：九州農政局、九州経済産業局、九州食の展示商談会実行事務局）

- ・ 目的：参加者への情報提供、意識向上
- ・ 日時：平成29年1月19日（木）13：00～16：00
- ・ 場所：福岡国際センター（福岡市）
- ・ 概要：協議会専用ブースへ相談員派遣。

<流通・販路の拡大>

国内市場における流通・販路の拡大

- ・ 九州全域における6次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング交流会（個別商談会）を開催。

○ 広域ビジネスマッチング交流会（「6次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」）

- ・ 平成28年6月22日（水）
九州食の展示商談会実行委員会（事務局：熊本市）と「6次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」の企画等を協議。
- ・ 平成28年10月12日（水）
「第5回九州食の展示商談会 in 福岡」出展者説明会において「6次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」の目的・参加要領等の説明を実施。
場所：崇城大学市民ホール（参加者約200名）

【開催結果】

- 「6次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」
- ・ 日時：平成29年1月18日（水）10：30～16：00
同 1月19日（木）10：30～15：30
- ・ 場所：福岡国際センター「第5回九州食の展示商談会 in 福岡」の会場内「6次産業化・農商工連携ビジネスマッチング交流会」コーナー
- ・ 概要：参加企業

セラー：6次産業化・農商工連携に取り組む企業等 20 社・団体

バイヤー：百貨店、量販店等 9 社 10 組

成果：予約商談 102 件(事前マッチング)

成約・成約見込品数(商品別) 37 品(対全品数 13.6%)

※セラーアンケートに基づく。

海外市場に向けた輸出の拡大

- ・九州一体となった農水産物・食品の輸出促進を輸出部会で検討し実施。

ア 海外での輸出商談会開催

- ・「日本産農水産物・食品輸出商談会 in バンコク 2016」(ジェトロ主催)において、九州出展者を支援(詳細は、輸出部会にて)。

イ 輸出戦略の検討

- ・高コスト構造となっている「物流」について、低減策を検討。
日通商事株式会社と共同で 20 フィートリーファーコンテナ「fresh bank (フレッシュバンク)」の海上輸送試験を実施(輸出部会・流通部会)。
- ・青果、鮮魚、食肉について、平成 28 年 8 月 1 日～31 日の期間でそれぞれ実施。
- ・試験方法：福岡～東京往復を海上輸送にて実施、目視ダメージ確認。
- ・細菌増殖度：成分変化(鮮度変化)については、専門検査機関に委託。
- ・結果：総じて良好。

3 人材育成・広報・調査事業

(1) 経営人材育成事業

○ 農商工連携インターンシップ

- ・目的：農業者や農業法人(川上)と食品加工・中食(川中)や小売・卸売・外食(川下)の相互理解のための双方向のインターンシップ
- ・日時：平成 28 年 11 月 17 日(木)～18 日(金)
※当初、平成 28 年 4 月 20 日(水)～21 日(木)での開催を予定していたが、熊本での震災発生を受けて急遽延期。
- ・場所：株式会社くしふるの大地(大分県竹田市、豊後大野市)
- ・概要：流通業等の企業から農業法人へのインターンシップ派遣により、生産現場の体験や食を担う農業への理解の促進(参加者 4 名)。

(2) 高度経営人材事業

ア 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座

- ・年4回開催。詳細は前掲のとおり

イ 農商工連携インターンシップ

- ・平成28年11月17日（木）～18日（金）開催。詳細は前掲のとおり。

ウ 農業のビジネス化推進研修

- ・目的：農業経営を担う人材の育成
- ・日時：平成29年2月2日（木）～3日（金）
- ・場所：中小企業大学校人吉校（熊本県人吉市）
- ・概要：中小企業大学校のカリキュラムとして実施（協議会との連携開催）。

これからの農業を「稼げる農業」とするために、ビジネスとして成功するための農業経営について、事例研究等を通して企業経営の手法を取り入れた考え方を学ぶとともに、今後の事業の進め方について考えていくことを目的に開催（受講者22名、聴講者等11名、合計33名）。

(3) 情報提供・発信事業

ア 関連施策説明会

- ・セミナー、現地視察、部会開催案内等を継続して迅速に発信。
- ・農林水産省・経済産業省の農業関連分野での支援施策、予算について情報提供。

イ 九州農業成長産業化連携協議会の認知度向上・会員数拡大

- ・セミナー、展示商談会等での入会チラシの配布、勧誘。
- ・平成29年3月末現在会員数704（昨年度末から42会員増加）。

4 部会の取組み

(1) 輸出部会

(目的)

- ・九州地域の農業協同組合・農業法人、漁業協同組合等の生産者、自治体と経済界等が一体となった農林水産物・食品の輸出拡大。

ア 第16回輸出部会（平成28年度第1回）

- ・日時：平成28年5月31日（火）13：30～15：00
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：①海外輸出商談会の次回開催について

(場所、時期、実施形態など)

②平成 28 年度輸出部会活動について

(海外輸出商談会以外の活動について)

③「TPP 活用推進に向けたジェトロの取り組み」(ジェトロ説明)

④「農林水産業の輸出力強化ワーキンググループ」(第 10 回)(平成 28 年 5 月 12 日とりまとめ)(九州農政局説明)

⑤「農林水産業の輸出力強化戦略」九州ブロック説明会の開催及び参加者の募集について(九州農政局説明)

イ 第 17 回輸出部会(平成 28 年度第 2 回)

・日時：平成 28 年 8 月 10 日(水) 13:30~15:00

・場所：九州経済連合会会議室(福岡市)

・概要：①「日本産農水産物・食品輸出商談会 in バンコク 2016」実施要領説明

②鮮度保持輸送技術の紹介

・青果物鮮度保持システム「Tanka flesh UV」&青果物鮮度保持剤「Tanka flesh」(株式会社炭化説明)

・20 フィートリーフアーコンテナ「flesh bank」(日通商事株式会社説明)

③九州農政局からのお知らせ

・「未来への投資を実現する経済対策」(平成 28 年 8 月 2 日閣議決定)

・農林水産省の補助金等の逆引き辞典のご案内

ウ 海外での商談会開催やバイヤー招聘による販路拡大

(ア) 海外商談会

「日本産農水産物・食品輸出商談会 in バンコク 2016」(ジェトロ主催)において、九州出展者(7 社)の支援を実施。

○平成 28 年 11 月 22 日：九州出展者、現地日系企業、共同事務局の情報交換会

○同 11 月 23 日：現地企業訪問(出展者限定)

：日系企業訪問(訪問先：JETRO バンコク、株式会社麻生
バンコク事務所)

○同 11 月 24 日：商談会開催

【実績】()内は九州関係分(内数)

・出展ブース数：43 社(7 社)

・来場バイヤー数：154 社(154 社)

・商談件数：872 件(118 件)

・成約見込み数：437 件(26 件)

- ・成約見込み金額：9,043 万円(142 万円)

(イ) バイヤー招聘による販路拡大

- ・「食品輸出商談会 in 福岡」(ジェトロ主催)を後援し、九州セラーの参加を促進(海外バイヤー7社、セラー37社)。

エ 第18回輸出部会(平成28年度第3回)

- ・日時：平成29年3月2日(木)13:30～15:30
- ・場所：九州経済連合会会議室(福岡市)
- ・概要：①平成28年度の活動報告
②平成29年度活動方針の検討
③その他
 - ・九州貿易振興協議会主催「ベトナム食品商談会」開催結果の概要(佐賀県説明)
 - ・九州農林水産物輸出額の推移
 - ・「日本産農林水産物・食品輸出商談会 in バンコク 2016」報告
 - ・包装米飯(パックごはん)の輸出について
 - ・上海丸来貿易公社について
 - ・インストア・ショップ設置に関する海外試験販売品目リストの作成について(募集)(九州農政局説明)
 - ・新興市場等におけるマーケティング拠点の設置(九州農政局説明)
 - ・農林水産物・食品の輸出促進について(九州農政局説明)
 - ・戦略的輸出体制の整備(九州農政局説明)
 - ・情報交換

オ 鮮度保持輸送試験の実施

日通商事株式会社と共同で、20フィートリーファーコンテナ「fresh bank(フレッシュバンク)」の海上輸送試験を実施(輸出部会・流通部会)。

- ・青果、鮮魚、食肉を、平成28年8月1日～31日の期間でそれぞれ実施。
- ・試験方法：福岡～東京往復を海上輸送にて実施、目視ダメージ確認。
- ・細菌増殖度：成分変化(鮮度変化)については、専門検査機関に委託。
- ・結果：総じて良好。

(2) 外食部会

(目的)

- ・生産者側と外食事業者側とのビジネスマッチングの推進等。

ア 第6回外食部会

- ・日時：平成28年9月16日（金）15：00～17：10
- ・場所：九州農政局第2会議室（熊本市）
- ・概要：①平成27年度の取組について
②平成28年度の事業計画
 - ・会員等が主催する展示商談会等への参加
 - ・専用様式（FCPシート等）を活用会員間のマッチング促進
 - ・研修会・セミナー等の企画・参画等

イ 会員等が主催する展示商談会等への参加

（ア）「第22回展示商談会 for 飲食店」（主催：株式会社ぐるなび）

- ・目的：協議会ブースにおける九州製品のPR
- ・日程・場所：①平成28年9月15日（木）帝国ホテル大阪（大阪市）
② 同 9月28日（水）セルリアンタワー東急ホテル（東京都）
- ・概要：部会員及び協議会のパンフレット出展。

（イ）「第23回展示商談会 for 飲食店」（主催：株式会社ぐるなび）

- ・目的：協議会ブースにおける九州製品のPR
- ・日程・場所：①平成29年1月31日（火）帝国ホテル大阪（大阪市）
② 同 2月1日（水）セルリアンタワー東急ホテル（東京都）
- ・概要：部会員及び協議会のパンフレット出展。

ウ 専用様式（FCPシート等）を活用した会員間のマッチング促進

- ・平成29年1月、連携（マッチング）の仕組みを改善し、新たに「連携提案に対する関心会員の登録」を導入。クラウド上に掲示を開始するとともに一斉メール配信。
- ・平成29年1月、FCPシート作成支援に関する情報（ぐるなび大学）を会員へお知らせ。

エ 会員のWEBマッチングネットワークを活用した連携促進

- ・ぐるなびPRO等、部会員のWEBシステムを活用したマッチングの促進。
- ・会員のWEB、メルマガ等を通じた情報発信。

オ 研修会・セミナー等の企画・参画

（ア）「[九州]外食ビジネスウィーク2016」

（主催：[九州]ビジネスウィーク実行委員会）

- ・ 目的：外食事業者の協議会への加入促進
- ・ 日時：平成 28 年 11 月 15 日（火）～17 日（木）10：00～17：00
（最終日は 16：00 まで）
- ・ 場所：マリンメッセ福岡（福岡市）
- ・ 概要：協議会ブースでチラシ配布。

（イ）「全国キャラバン食の発掘商談会 in 熊本」（主催：株式会社 J T B 西日本）

- ・ 目的：参加者に対する個別相談
- ・ 日時：平成 28 年 11 月 29（火）
- ・ 場所：ホテルニューオータニ熊本（熊本市）
- ・ 概要：協議会専用ブースへ相談員を派遣。

（ウ）「くるめ農商工よかもんマルシェ」（主催：久留米市農商工連携協議会）

- ・ 日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）11：00～16：00
- ・ 場所：久留米シティプラザ六角堂広場（久留米市）
- ・ 概要：久留米市並びに久留米広域連携中核都市圏の農業者、農産加工食品等の情報発信・P R の充実を図り農商工連携事業の活性化。

（エ）「久留米地域農商工連携見本市」（主催：久留米市農商工連携会議事務局）

- ・ 日時：平成 29 年 2 月 8 日（水）10：00～16：00
- ・ 場所：久留米シティプラザ（久留米市）
- ・ 概要：農商工業 30 事業者が出展し、久留米広域連携中核都市圏で生産された農産物を活用した農産加工品を展示した商談会。同時に農商工連携セミナー、農業経営支援研修会も開催。

カ 「生産物紹介コーナー」の活用促進

- ・ 平成 29 年 2 月、クラウド内の掲示場所の改善、メール配信によるコーナーの紹介と募集及び掲示場所変更の案内。

キ 生産者側への外食事業者との連携の魅力・効果等の発信

「飲食店との直接取引についてのアンケート調査の実施」

- ・ 目的：農業者と外食事業者との直接取引の実態、それを進めるうえでの課題等の把握
- ・ 日程：平成 29 年 2 月実施、結果はクラウドへ掲載予定。

(3) I T 部会

（目的）

- ・ I T 活用による一次産業の経営合理化、生産性向上、販売力強化の現場実証等

ア 第5回 I T 部会

- ・ 日時：平成 28 年 10 月 7 日（金）15：00～17：00
- ・ 場所：九州農政局第 2 会議室（熊本市）
- ・ 概要：①平成 27 年度の取組みについて
②平成 28 年度の取組みについて
 - ・ 専用様式を活用したビジネスマッチングの促進
 - ・ 部会員等が主催する商談会、イベントを活用した取組み
 - ・ I T 活用における生産者側の課題解決
 - ・ I T 活用におけるベンダー側の課題解決

イ 専用様式を活用したビジネスマッチングの促進

- ・ 選択肢の導入等による専用様式の改善（平成 29 年 3 月）
- ・ I T 導入推進用チラシの配信と連動した取組の実施（平成 29 年 3 月）

ウ 部会員等が主催する商談会、イベントを活用した取組み

○ 「第 2 回九州次世代農業経営者 研修会」（主催：富士通株式会社）

- ・ 目的：次世代農業者の課題解決のための講演等
- ・ 日時：平成 29 年 2 月 15 日（水）13：30～17：00
- ・ 場所：ホテルニュープラザ久留米（久留米市）
- ・ 概要：部会員間の連携によるセミナーでの事例、システムの紹介。部会長を講師等として派遣。

エ I T 活用における生産者側の課題解決

（ア）I T 部会現地調査

- ・ 日時：平成 28 年 9 月 9 日（金）13：15～16：00
- ・ 場所：株式会社くしふるの大地重政農場（大分県豊後大野市三重町）
- ・ 参加者：I T 部会員 6 名、オブザーバー 3 名、事務局 4 名、合計 13 名
- ・ 概要：I T 導入の先進事例の調査

（イ）生産者の I T 導入のためのチラシの作成

- ・ 平成 29 年 3 月、優良事例等を掲載したチラシを作成し、クラウド上へ掲示するとともに一斉メールで配信。

（ウ）I T 導入相談窓口の設置

- ・ 平成 29 年 3 月、I T 導入相談窓口を設置し、クラウド上に掲示するとともに、一斉メールで配信。

オ I T 活用におけるベンダー側の課題解決

- ・ I T 活用におけるベンダー側の課題解決の検討を行う場としてベンダー分科

会の設置。

(4) 流通部会

(方針)

- ・消費者が求める商品提供（マーケットイン）、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等（農業バリューチェーン）による生産者所得の拡大、及び販路（需要・消費）の拡大を目指す。

(事業)

- ア ユーザー視点からの新規商品等の提案（商品価値向上のための提案等）
- イ 海外における「九州」産農産品の認知度向上・輸出拡大へ向けたブランド戦略
- ウ GLOBAL-G. A. P. 及び HACCP 等国際認証の取得・普及等
- エ アジアを中心とした海外販路拡大のための船舶物流等の検討
- オ 国内物流体制の最適化やモーダルシフト等の検討
- カ 輸出拡大を念頭に置いた、海上輸送やコールドチェーンの再検証
- キ 先進地視察やインターンシップの実施
- ク その他、過去の議論で出された課題への対応（共通課題への取組、個別課題のフォローアップ）

ア 第14回流通部会

- ・日時：平成28年7月29日（金）14：00～16：00
- ・場所：福岡第一合同庁舎（福岡市）
- ・概要：①平成28年度流通部会活動方針について
②他事業との連携について
③HACCPについて
※終了後、九州農業連携塾（第21回）を開催

イ 第15回流通部会

- ・日時：平成28年9月29日（木）8：30～20：30 ※渋滞による遅延
- ・概要：先進地視察
- ・視察先：おおむら夢ファーム シュシュ（長崎県大村市）
農業生産法人 愛菜ファーム株式会社（長崎県諫早市）

ウ 第16回流通部会

- ・日時：平成28年11月10日（木）7：00～11：00

- ・ 場所：ベジフルスタジアム（福岡市）
- ・ 概要：①視察 1 福岡市中央卸売市場 青果市場
 - ②新青果市場の仕組み、青果の市場動向について（福岡大同青果株式会社説明）
 - ③商品プレゼン（青果物鮮度保持システム「Tanka flesh・UV」）（株式会社炭化説明）
 - ④商品構成グラフについて（立石部会長説明）
 - ⑤農水産物・食品の輸出促進に向けた現状と課題について
 - ⑥平成 29 年度 流通部会活動方針（案）について
 - ⑦視察 2 フードウェイ アイランドシティ店

エ 第 17 回流通部会

- ・ 日時：平成 29 年 2 月 22 日（水）13：20～16：10
 - ・ 場所：凸版印刷株式会社九州事業所（福岡市）
 - ・ 概要：①視察 凸版印刷株式会社ロビー展
 - ②凸版印刷の農業への取り組みについて（凸版印刷株式会社説明）
 - ③「農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄」の取り組みについて（高鮮度保持海上輸送コンテナによる農産物の輸送試験（中間報告））（九州大学説明）
 - ④農産物輸出の課題と対応（九州農産物通商株式会社説明）
 - ⑤柑橘類、根菜類の鮮度保持に向けた取り組みについて（農業法人ウシジマ青果有限会社、セブンシップ株式会社説明）
 - ⑥平成 29 年度流通部会活動方針について
 - ⑦平成 29 年度政府関係予算（概算要求）について（九州運輸局、九州農政局説明）
 - ⑧「加工・業務用国産野菜の利用拡大セミナー」案内（九州農政局説明）
- ※終了後、九州農業連携塾（第 22 回）を開催